福祉に限定しない理由

福祉は上からくるものではなく、支え合いがないと成立しない
安心して暮らせるまちづくり、ひとづくり
緑、鳥、花も含めて
福祉にこだわると、人間の本質と真逆
科学は幸福にしているか？
神からもらったものを、人間同士が支え合う

人をつくる　声をかけて指導して、ついてきたら幸せ　ではなく、
お互い様　犯罪があるから食えている
そのおかげで幸せになっている　支え合いになっている
父の家具の工場　刑務所出身者が職人
お汁粉　その人たちが支えてくれた
人助けもしている
妊娠している人、食堂の開放など、大学に働きかけた
人間を善としてみる

福祉に限定しない

人間を善としてみる
善として言われていること、悪として言われていること
幻視がなくなった　視野狭窄に戻っている
たったそれだけで変わる
散歩怖い　感覚がない
何が治したのか　いい香り　草花を植えたり　嗅覚が戻す
認知症は気づかせてくれる　病気で不便を感じる
とり方の問題　気分的に何かのスイッチが入った
今までの体験でアドバイス

人間は善

明るくなると、注目されているという感覚
「へんなやつ」と見られている
「変な時間に歩いている人」

聞いてやろう、という気持ちの人　とはコミュニケーションができる
コミュニケーションは何かを感じ取ろうと思っていないと

究極を味わうと相手のことがわかる
バリバリの現役の頃　テキ屋さんからもらう
浅草焼き　天秤担ぎ　一癖二癖ある人との交流

祖父母が育ってきた環境を知ってほしい
GHQの仕事　価値観の違い

早朝の散歩

① 福祉は上からくるものではなく、支え合いがないと成立しない。

② 私たちについてきたら幸せになれるではなく、人をつくる。

③ 人間を善としてみる。

「福祉に限定しない」のポイント